

教育研究業績書

2020年07月16日

所属：情報メディア学科

資格：准教授

氏名：和泉 志穂

研究分野	研究内容のキーワード
色彩学, 色彩情報	カラー・マーケティング, 五感, 感性情報, ファッション, 消費行動, ライフスタイル
学位	最終学歴
博士 (情報メディア学)	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究科 生活環境学専攻 博士後期課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 小学生向け科学WSの実施	2019年08月07日～08日	科目：卒業基礎研究、卒業基礎演習Ⅰ 2019年2月に実施した「親子で楽しむ☆ワクワクワーク」が盛況であった実績により、ららぽーと甲子園より依頼を受け「夏休み応援企画 わくわく自由研究2019」を実施した。小学校低学年は「びっくり☆スライム3変化」、中学年は「10円玉ピカピカ大作戦」、高学年は「ジュースからDNAを取り出そう！」というテーマで、学年を細分化し身近なもので自由研究を行うことで、小さな発見から科学の楽しさに気付いてもらうワークショップ（60分×3回×2日）を企画・運営・実施した。小学生に難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことをいかに面白く伝えるか、発見させるかに着眼した。参加者は183人（子ども104人、保護者79人）。
2. 地域活性を目指した産学連携プロジェクト	2019年04月～現在	科目：卒業基礎研究・卒業基礎演習Ⅰ・Ⅱ ゼミ生が西宮市の地域活性を目的とした産学連携として、廣田神社（西宮市）、植物セラピーあるある（伊丹市）、株式会社ロータリービジネス（豊中市）と共同し、新たな授与品や写真映えスポットの商品開発・イベント企画や、2020年度の完成を目指し、ARを使用したインバウンド対応企画を計画している。授与品は2020年1月1日より廣田神社にて授与が開始された。（「地域を対象とした連携推進事業」採択課題）
3. 商品開発と販売体験	2019年02月16日～17日	科目：卒業基礎研究 ゼミ生が産学連携として2018年夏より、植物セラピーあるある（伊丹市）、株式会社ロータリービジネス（豊中市）と共同し、武庫川女子大学をイメージしたパウダリーアロマとギフト用のパウダリーアロマの新商品開発を行った。実際にららぽーと甲子園にて店頭販売も行ったことで、開発した商品に対するお客様との会話の中で、直接的な情報収集も行うことができ、今後の商品開発につながるヒントを得るきっかけにもなった。（2日間の店頭販売で350個販売、現在も販売中）
4. 小学生向け科学WSの実施	2019年02月16日～17日	科目：総合演習Ⅱ JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、ららぽーと甲子園で実施された武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク」を実施した。万華鏡とスライムを作るワークショップ（30分×5回×2日）の企画から運営まで全てを自分たちで行うことで、一連の重要性を直接学ばせることができた。参加者は378人（子ども228人、保護者150人）。
5. 小～高校生向け科学WSの実施	2018年05月02日～03日	科目：卒業基礎研究 JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、武庫川女子大学附属中高で実施された2018武庫川フェスティバルにて「ひょうご理系未来塾サイエンスカフェ」として、「バスボム作り」（40分×3回）のワークショップを実施した。企画から運営まで全てを自分たちで行うことで、一連の重要性を直接学ばせることができた。
6. 実演を導入した座学授業の実施	2018年～現在	科目：衣生活情報論 衣生活の基本である衣に関する内容を説明する際、実際に実演を導入している。2Dでは理解しにくい内容も、3Dかつ目の前で実演することで、衣の仕組みなどの理解を深め知識が定着するように工夫している。
7. 小学生向け科学WSの実施	2017年08月08日	科目：卒業基礎研究 「2017朝小サマースクールin武庫川女子大学」にて、JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として「しゅわしゅわ☆バスボムをつくってみよう！」（30分×5回）を実施した。科学の楽しさを伝えるにはどうすればよいか、ワークショップ実施までの全てを考え実施運営することで、ターゲットを見据えた企画立案の必要性と、実施することで見えてきた課題に即時に対応する力を身につけさせる一助となった。
8. アクティブ・ラーニング	2015年～2017年	科目：色彩情報、色のふしぎ 色彩の知識習得にあたり、知識を受動的に学ぶのではな

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
9. 課題による双方向授業の実施	2011年～2012年度	く、実際に学んだものを生活の中から見つけ出し、体験し、他の学生とディスカッションやPBLを行うことで、能動的に知識を身につけることができるよう授業展開や課題を設定した。 科目：色彩情報演習Ⅱ 講義内容の理解を深めるために、前半は理論に関する講義を行い、その後は実際に配色カードなどを用いた演習を行っている。毎週提出の課題は、できるだけ翌週には全て正誤チェックを行い、何が間違っていたかなどをその都度コメントを記入し返却を行った。
10. 復習テストの実施	2011年～2016年	科目：オフィスツールの基礎 授業の始めに、LMS(μ Cam)を利用した復習テストを実施した。前週までの内容を範囲とし、授業で修得する技術とは別に、専門用語などの必要知識の定着を目的とした。
2 作成した教科書、教材		
1. 「近未来の暮らしのマネジメントー15のテーマから考える生き方ー」	2018年4月27日	日本家政学会生活経営学部会関西地区会として、10名の教員で生活経営に関するテキストを出版した。第5章「お金のマネジメント」p. 24-29を執筆担当。その他、本文デザイン・レイアウトを担当した。
2. 復習問題出題システム	2018年～現在	科目：色彩情報論、色彩情報(1)(2) 専門用語など必要知識の定着を目的に、LMSを利用した復習問題出題システムを構築した。授業で修得する知識だけでなく、自身でも調べることで回答できるレベル設定にしている。インターネット上でいつでも登録者は使用できるため、隙間時間での学びを可能としている。
3. 裁縫実習キット	2016年～2018年	科目：家庭科概論、教科指導法(家庭) 家庭科実技の一つである裁縫に関する知識を修得するための簡易裁縫キットを受講者分準備し活用した。初学者が指導者として学ぶ基本的な技術を体得して積み上げることで一つの作品が完成するように工夫した。
4. プリント教材	2011年度～2017年度	科目：色彩情報 色彩の基礎を学ぶにあたり必要な知識の定着をはかるべく、授業後に各自で実施する問題プリント教材を作成した。90分の授業で学んだことから派生した内容も含めることで、能動的に取り組む内容となるよう工夫している。
5. プリント教材	2010年度～2011年度	科目：色彩情報演習Ⅱ 教科書の代わりとして、要点の解説とワークシートを複合させたプリント教材を制作した。教材は最新情報に改定しながら、著作権の関係で配布できない資料はスライドを利用して見せるなどして、学生により身近な事例を提示する工夫を施した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2020年03月09日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、準団体としてその功績が表彰された。
2. 色彩検定協会「優秀団体賞」受賞	2019年03月18日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、準団体としてその功績が表彰された。
3. 色彩検定協会「UC級優秀賞」受賞	2019年03月18日	文部科学省後援 色彩検定UC級において特に優秀な成績をおさめたとして、個人としてその功績が表彰された。
4. 授業改善奨励賞 受賞	2018年09月28日	2018年前期の授業において、より良い授業方法の工夫と実践に精巧し大学の教育の質の向上に大きく貢献したとして、学長より授業改善奨励賞を受賞した。
5. 色彩検定協会「優秀団体賞」受賞	2018年03月12日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、準団体としてその功績が表彰された。
6. 色彩検定協会への準団体登録	2017年～現在	色彩の授業を受講をきっかけに色彩検定取得を目指す学生を対象に、願書の取りまとめや合格証書配布などの事務作業(団体受付窓口業務)を行うとともに、特別学期の時間や業務外の時間で対策講座などを実施している。
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 色彩検定協会認定色彩講師 (UC級講師資格)	2019年02月23日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が主催する認定講師養成講座を終了し、かつ色彩講師としての色彩の知識と講師として必要な幅広い知識と高い指導力を身につけた者に認定する資格。2018年冬季より開始されたUC級講師資格を取得。
2. UCアドバイザー	2019年01月16日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が認定するUC(色のユニバーサルデザイン)能力資格。
3. 色彩検定協会認定 色彩講師	2016年10月01日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が主催する認定講師養成講座を終了し、かつ色彩講師としての色彩の知識

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
4. Microsoft Office Specialist 2013 Master	2016年03月22日	と講師として必要な幅広い知識と高い指導力を身につけた者に認定する資格。 Microsoftが複数のOfficeアプリケーションスキルを認定する国際資格。
5. 1級色彩コーディネーター	2013年01月	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が認定する色彩活用能力資格。
6. 高等学校一種（家庭）教員免許	2004年03月31日	平15高1第1257号
7. 中学校一種（家庭）教員免許	2004年03月31日	平15中1第809号
8. 上級情報処理士	2004年03月31日	全国大学実務教育協会が認定する情報通信技術資格。
9. 高等学校一種（情報）教員免許	2004年03月31日	平15高1第1439号
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 情報メディア学科学校教育センター委員	2020年04月01日～現在	情報メディア学科学校教育センター委員として、本学及び学科の教員養成に関わる業務に従事している。
2. 研究発表会 指導助言・講評	2020年02月12日	西宮市立西宮高校で行われた「2019年度74回生G・S科テーマ研究中間発表会」に、指導助言・講師として参加した。
3. 進路個別相談会 相談員	2019年11月09日	理化学研究所神戸キャンパスにて行われた理系志望の女子中高生大生の個別相談会に、相談員として参加した。
4. 香り商材とARを活用した神社をモデルケースとした地域活性化事業	2019年06月～現在	武庫川女子大学教育研究社会連携推進室が実施する「地域を対象とした連携推進事業」に採択され、ゼミ生と共に現在取り組んでいる。
5. 模擬授業 講師「情報メディアと色彩」	2019年05月31日	兵庫県立有馬高等学校による大学見学の一環として、高校1年生を対象にした模擬授業を実施した。
6. 出前授業 企画運営	2019年03月14日	西宮市立学文中学校で実施した「トライやる・ウィークStart up講座」の企画・運営を行った。当日は、8機関9人の講師に登壇していただき、振り返りとまとめの時間を担当した。
7. 出前授業 企画運営	2019年02月25日	西宮市立上甲子園中学校で実施した「トライやる・ウィークStart up講座」の企画・運営・当日サポートを行った。当日は、6機関10人の講師に登壇していただいた。
8. サマースクール宿泊研修スタッフ	2018年08月07日～08日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」が企画・運営するサマースクール宿泊研修にスタッフとして参加した。
9. 模擬授業 講師「情報メディアと色彩」	2018年06月01日	兵庫県立有馬高等学校による大学見学の一環として、高校1年生を対象にした模擬授業を実施した。
10. 「鳴松会の日」幹事	2018年05月25日	武庫川学院の卒業生全員が入会する卒業生組織である鳴松会が行うホームカミングデー「鳴松会の日」総会にて平成30年度役員の一部改選について報告者として登壇した。
11. 模擬授業 講師「情報メディアと生活」	2018年04月26日	兵庫県立西脇高等学校による大学見学の一環として、高校3年生を対象にした模擬授業を実施した。
12. 情報メディア学科広報入試委員	2018年04月01日～2020年03月31日	情報メディア学科広報入試委員として、本学及び学科の広報入試に関わる業務に従事した。2018年度は神戸サンポーホールでの大学総合説明会に大学を代表して参加。2019年度は徳島と香川にて行われる大学総合説明会に大学を代表して参加した。
13. シンポジウム 司会	2018年03月17日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の公開シンポジウムにて、司会進行を行った。
14. 理系の仕事体験サポート	2018年03月10日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画である、中学生を対象とした仕事体験企画「キッズニア甲子園で理系の仕事に挑戦！」の企画・運営を行った。
15. 出前授業 講師「カラー・マーケティング入門」	2018年03月05日	兵庫県立明石高等学校との高大連携授業の一環として、高校1年生を対象にした出前授業を実施した。
16. 座談会 司会	2017年07月15日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画「卒業生との座談会」において司会を務めた。
17. 西宮市共通単位講座 講師	2017年05月03日	西宮市共通単位講座で開講された「情報メディア論」の1講座を担当。生活の中に見る色彩情報について講義した。
18. 情報メディア学科学院親睦会委員	2017年04月01日～2019年03月31日	情報メディア学科の学院親睦会委員として、学院親睦旅行や新年互礼会、歓迎会などに関わる業務に従事した。
19. 情報メディア学科FD委員	2017年04月01日～2018年03月31日	情報メディア学科FD委員として、本学及び学科のFDに関わる業務に従事した。
20. 女性研究者支援センター女子中高生理系支援部門サブリーダー	2017年04月01日～2020年03月31日	女性研究者支援センター女子中高生理系支援部門のサブリーダーとして、JST採択「ひょうご理系女子未来塾」のイベント企画運営から実施までの実務を担当した。
21. 武庫川女子大学生活美学研究所 研究員	2017年04月01日～	武庫川女子大学生活美学研究所に研究員として所属して

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
22. 生涯学習講座 講師「生活のなかにみる色彩」	2015年11月14日	いる。 猪名川町（兵庫県）の生涯学習講座を履修している町民に対して開講されている市民講座にて講師を務めた。
23. 日本繊維製品消費科学会 2015年度年次大会 若手優秀発表賞 受賞	2015年06月	日本繊維製品消費科学会の2015年次大会で発表した「自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究——複数の感覚項目の関係性および性差・世代差からの検討」が評価され、若手優秀発表賞を受賞した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

1 著書				
1. ユーザの感性と製品・サービスをむすぶ：真意を開き出すアンケート設計と開発・評価事例	共	2018年12月21日	サイエンス&テクノロジー株式会社	氏田壮一郎 他32名 和泉志穂、赤岡仁之 第5章第3節 [3] 「消費者属性を考慮した自動車使用時に重視する感覚評価項目の研究」を担当執筆した。

2 学位論文				
1. ポストモダン・マーケティングの視点を取り入れたカラー・マーケティングの体系化に向けた研究	単	2016年03月	武庫川女子大学大学院生活環境学研究所博士学位論文	21世紀に入り、色鮮やかで彩り豊かな時代が再び到来している。市場転換期において色彩はその重要性が増しているが、これまでに、商業学を基礎とした色彩研究を体系化する研究はあまりみられない。そこで本研究では、色彩とマーケティングのこれまでの潮流を整理し、カラー・マーケティングの体系化を行うことを目的とした。体系化にあたり着目したのが、経験と感情、および感性に着目したポストモダン・マーケティングである。結果、色彩を用いた包括的な研究の必要性を示唆し、大きな枠組みとしての感性（五感）マーケティングにおける色彩の重要性を示した。

3 学術論文				
1. ディスプレイ色に対する季節感の時代変化（査読付）	単	2019年12月	武庫川女子大学生活美学研究所『生活美学研究所紀要』第29号, pp. 163-175	近年、スマートフォンの普及が進み、人々のディスプレイ画面との接触時間が大幅に増加している。そこで、現在の人々がディスプレイ上の色に対してどのように季節感を感じているのかを調査することを目的に、色光の三原色である赤(R)、緑(G)、青(B)を用い、それぞれに対する春、夏、秋、冬という季節感をどのように感じているのかを定量的に評価し、2009年の調査と比較検討を試みた。
2. 外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察—SNS時代における感性消費を背景に—（査読有）	共	2019年12月	日本フードサービス学会『日本フードサービス学会年報』第24号, pp. 24-39	和泉志穂、赤岡仁之、井上重信 本研究では、「食に対し理性よりも感性を重視し、ストーリーを自ら構築することで外食を楽しむ消費者が登場してきている（仮説）」として、外食店舗選択時の重視項目（理性重視/感性重視）と店舗でのストーリー消費行動の分類（オリジナル型/カスタマイズ型）の2軸を用いることで消費者を4類型化し、仮説を検証した。大学生という限定された対象ではあるが、SNS時代における消費行動の一端を4類型化することにより、次世代を担う消費行動として、感性カスタマイズ型という象限に該当するカテゴリーリーダーの萌芽と特徴を示した。
3. 自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究——複数の感覚項目の関係性および性差・世代差からの検討（査読付）	共	2015年07月	日本繊維製品消費科学会論文誌『繊維製品消費科学』Vol. 56(7), pp. 613-619	和泉志穂、赤岡仁之 今日、注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に、消費者の商品購買時ではなく、商品使用時における感性価値の重要度の程度を、自動車（乗用車）をケースとして検討した（本研究では、車体色などの視覚、車内の臭いなどの嗅覚、エンジン音などの聴覚、シートの素材感などの触覚）。さらに、五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく、それらの感覚項目における精査や世代差の比較検討も行った。
4. 自動車をケースにした色彩とマーケティングに関する研究（査読付）	単	2014年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第23号, p. 115-125	近年、自動車（乗用車）や衣服などさまざまな商品において豊富なカラーバリエーションが商品の付加価値や企業の広告戦略として利用されている。そこで本研究では、色彩とマーケティング戦略との関連性を把握するための試みとして、日本の自動車市場をケースとした研究を行った。自動車の車体色の変遷を、企業のマーケティング戦略と消費者の選択の観点から整理することにより、色彩が果たしてきた役割を高度経済成長期、安定成長期、バブル期、成熟期の経済的時代区分により整理した。
5. PC画面上で見る三原色の季節感について（査読付）	共	2009年11月	武庫川女子大学紀要（自然科学編）, 第57号, pp. 17-23	伊佐治せつ子、和泉志穂 近年、漫画やイラスト、広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では、PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし、色光の三原色である赤(R)、緑(G)、青(B)を用いて、それぞれに春、夏、秋、冬の色を季節感を定

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
6. リハビリテーションとしてのパチンコ・パチスロにおける福祉的側面の研究（査読付）	単	2007年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第17号, p. 72-82	量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ、サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い、季節感を定量的に現し、L*a*b*表色系による彩度との関係を調べた。
7. Javaアプレットによるプログラミング教育の取り組み	共	2004年12月	武庫川女子大学情報教育センター年報2003, 第12号, pp. 20-28	大阪府下の高齢者関連施設858施設を対象に、パチンコ台設置に関する高齢者関連施設への実態調査（調査Ⅰ）とパチンコ遊戯前後における高齢者の表情変化調査（調査Ⅱ）、高齢者と施設関係者への遊戯に対する意識調査（調査Ⅲ）を行った。そこから、遊びながらリハビリテーションを行う「遊びリテーション」としてのパチンコ・パチスロ遊戯の可能性を提案し、日本の大衆文化（娯楽）の福祉的側面からのアプローチを試みた。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察—SNS時代における感性消費を背景に—	共	2019年06月08日	第24回日本フードサービス学会年次大会 開催場所：東京海洋大学品川キャンパス	和泉志穂, 井上重信, 赤岡仁之 本研究では、「食に対し理性よりも感性を重視し、ストーリーを自ら構築することで外食を楽しむ消費者が登場してきている（仮説）」として、外食店舗選択時の重視項目（理性重視/感性重視）と店舗でのストーリー消費行動の分類（オリジナル型/カスタマイズ型）の2軸を用いることで消費者を4類型化し、仮説を検証した。発表では、消費者を類型化することで見えてきた外食におけるカテゴリーリーダーの存在を明確にするとともに、外食店舗における効果的なマーケティング戦略のあり方に言及した。
2. 自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究——複数の感覚項目の関係性および性差・世代差からの検討	共	2015年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：信州大学	和泉志穂, 赤岡仁之 本研究では、今日注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に、消費者の商品購買時ではなく、その使用時における感性価値の重要度を、自動車（乗用車）をケースとして検討した（本研究では、車体色などの視覚、車内の臭いなどの嗅覚、エンジン音などの聴覚、シートの素材感などの触覚）。さらに、五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく、それらの感覚項目における性差や世代差の比較検討も行った結果を報告した。
3. 若い女性にみる「やる気」を發揮させる配色についての一考察	共	2011年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：武庫川女子大学	和泉志穂, 伊佐治せつ子 本研究では、単色ではなく「配色」における人のやる気を發揮させる効果について調査した。まず、単色でやる気を發揮させる色として調査を行った結果、赤、橙、黄、ピンク、の4色で全体の約88%を占める結果となった。そこで、この4色と無彩色の白、黒を合わせた合計6色を採用し、30通りの配色パターンを作成した。SD法でイメージ調査を行った結果、単色と配色では、やる気を感じさせる色が異なること、また、やる気を發揮させる配色にどのような法則があるかを報告した。
4. 高級感を感じる配色	共	2010年10月	日本家政学会関西支部第32回研究発表会 開催場所：兵庫県立大学	和泉志穂, 伊佐治せつ子 本研究では、高級感をもたらす色について、単色と2色配色のそれぞれのケースにおいて、そのイメージの特徴を明らかにし、配色効果をもたらす高級感を検討することを目的とした。PCCS色票から23色（無彩色3色、有彩色20色）を抽出し、SD法で単色における高級感と2色配色における高級感のイメージ調査を行った。結果、単色と2色配色の場合で、それぞれ高級感をもたらす色相とトーンを明らかにし、さらにその要因として3つの因子を抽出し、単色と2色配色での高級感について報告した。
5. 女性ヤング誌にみる“かわいい”の表現	共	2010年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：実践女子大学	和泉志穂, 伊佐治せつ子 現在、諸外国でも注目されている“かわいい”という表現は、近年、若者（特に女性）の間では何に対しても、また、どのような場面でも使用されている。そこで本調査では、若い女性が“かわいい”という言葉をどのような対象物に対して使用しているのかを明らかにすべく、2007～2009年の女性ヤング誌に“かわいい”と表現されているファッションアイテムを抽出した。そして、種類、色、柄、素材、形、トーンについて、アイテム別“かわいい”表現の要素と経年変化を調査した結果を報告した。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
6. PC画面上で見る色の季節感について	共	2009年10月	日本家政学会関西支部第31回研究発表会 開催場所：京都女子大学	和泉志穂、伊佐治せつ子 近年、漫画やイラスト、広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では、PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし、色光の三原色である赤(R)、緑(G)、青(B)を用いて、それぞれに春、夏、秋、冬の色の季節感を定量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ、サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い、季節感を定量的に現し、L*a*b*表色系による彩度との関係を調査した結果を報告した。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察—SNS時代における感性消費を背景に—	共	2019年02月20日	日本フードサービス学会第5回研究部会（研究助成中間報告会） 会場：JFセンター会議室	和泉志穂、赤岡仁之、井上重信 2018年度に採択された研究助成の中間報告会に参加し、大学生を被験者を実施した外食店舗選択に関するインタビュー調査とアンケート調査の概要について報告した。
2. 生活美学研究の今後(3)——生活美学基礎理論確立の試み	共	2016年12月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第26号, p. 151-169	森田雅子, 和泉志穂 生活美学研究の今後として、生活美学基礎理論を確立すべく、嗅覚の「美」と「醜」について、日誌形式の調査を基に、定量分析と質的分析で比較検討を行った結果を報告した。
3. 色の三属性	単	2016年09月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	[模擬講義] 色の三属性について、初学者を想定した模擬講義を行った。
4. ソフィスティケート	単	2016年08月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	ファッションイメージのひとつであるソフィスティケートとはどのようなものか、対象イメージと隣接イメージから、その差を明確にしたイメージマップを作成し考察、発表した。
5. 自動車のユニバーサルデザイン	単	2016年08月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	プロダクトデザインと色彩について、自動車のユニバーサルデザインにおける色彩を分析した。過去に行った調査研究のデータも用いながら、今後の自動車におけるユニバーサルデザインの方向性などについて示唆した。
6. 住宅の色彩——好悪	単	2016年07月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	住宅の色彩について、甲子園周辺のみる好悪な配色事例とその要因について、日本塗料工業会の色票を用いて視感測色し、考察した結果を報告した。
7. エルメスと高知家にみるブランディングデザイン	単	2016年07月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	ブランドとして圧倒的な地位をもつエルメスと、近年、共創マーケティングとして登場した高知家を取り上げ、ブランディングと色彩について報告した。
8. 色の表示(Yxy値)とxy色度図	単	2016年06月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	[模擬講義] 色の表示(Yxy値)とxy色度図について、色彩検定1級受験希望者を想定した模擬講義を、実践的な教材を作成し、指導案例も提示しながら行った。
9. “遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2006年05月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団研究費報告会 会場：虎ノ門パストラル(東京)	研究助成を受けた財団法人中山隼雄科学技術文化財団にて、遊びとしての日本の大衆文化（パチンコ・パチスロ）の福祉学的側面からの研究報告を行った。
6. 研究費の取得状況				
1. 外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察—SNS時代における感性消費を背景に—	共	2018年度	日本フードサービス学会	和泉志穂、井上重信、赤岡仁之 日本フードサービス学会と一般社団法人日本フードサービス協会が協同で創設した研究助成制度で採択された。
2. “遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2005年04月～2006年03月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団	人間と遊びに関する研究一般を助成する助成研究B（遊びの研究等）で採択され、研究費を取得した。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2020年07月～	日本色彩学会 学会誌編集委員
2. 2018年12月～現在	日本家政学会 若手の会 幹事
3. 2018年07月～現在	日本家政学会 生活経営学部会 関西地区役員
4. 2018年05月～現在	日本フードサービス学会 会員
5. 2016年06月～現在	日本色彩学会 会員

学会及び社会における活動等

年月日	事項
6. 2016年04月～現在	日本家政学会 生活経営部会 会員
7. 2016年04月～現在	内閣府認定 色彩検定協会 (A.F.T.) 色彩講師会員
8. 2016年04月～現在	日本家政学会 会員
9. 2013年04月～現在	日本繊維製品消費科学会 会員
10. 2011年04月～2013年03月	日本家政学会 関西支部若手の会 幹事